

むさしのライフ

A to Z

知っているようで、あまり知られていない市内のあれこれについて、中学生記者が現場を取材、調査していきます。



たなか
田中ラナさん

春から第一中学校の新3年生。
バスケット部で
ポイントガードをやっています!

かねやま ひなの
金山陽菜乃さん

“美術はちょっと苦手”な
第一中学校の新3年生。
バスケット部所属。

Q

美術館にいる学芸員さんは、
普段どんな仕事を
しているんですか?

今回取材したのは

「武蔵野市立吉祥寺美術館」

武蔵野市吉祥寺1-8-11 F&Fビル(コビス吉祥寺A館)7階
☎0422-22-0385

“観る・創る・育てる”をテーマとして、ここでしか観られないユニークな美術活動を目指し、今年で10周年。油彩や版画、写真など収蔵作品は約2400点あり、多様なジャンルの作品を紹介する「企画展」を随時開催しています。

【開館時間】
午前10時～午後7時30分

【休館日】
毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始、展示替えおよび特別整理期間

【入館料】
100円
(小学生以下、65歳以上、障害者は無料)



今回話を聞いたのは

せき かすみ **関 香澄**さん

武蔵野市立吉祥寺美術館
学芸員

展覧会やイベントの企画・広報活動などを担当。「小さなお子さんから高齢の方まで、誰もが興味を持てるようにバランスを考えて展示を行っています。無料スペースやミュージアムショップなどもあるので、まずは気軽に足を運んでみてください!」



開館
10周年



ロビー

自由に見学できるパブリックスペース。企画展に合わせた展示やワークショップ作品などを展示。



ポスター展

平成14年2月に開館した美術館の満10周年を記念して、コビス吉祥寺4階の連絡通路にて、開館してから現在に至るまでの企画展のポスターを展示中(3月31日まで)。



常設展 浜口陽三記念室

特殊な銅版画の技法を創り上げた版画家、浜口陽三。作品以外にも原版や、版画を刷るための大きなプレス機も展示されインパクト大。銅版画の魅力が伝わってくる。



展示の仕方です
学芸員さんは
どんなことを
考えますか？



企画展

取材時は「紙上の技法学」と題した展示を開催中。紙の上に表現された作品を水彩画やリトグラフ、エッチングなど技法ごとに分けてわかりやすく展示。

皆さんに作品を
親んでもらうよう、
年代やテーマなど、
どういう順番で展示
するか考えるん
ですよ。



常設展 萩原英雄記念室

萩原英雄は、複雑な表現を極め世界に名を知らしめた木版画家。使用していたイーゼル（画架）や、鎖を埋めたバレンなど、彼の工夫が垣間見られる。



作品の見せ
方ってどんな
工夫があるの
かな？

作品の魅力を引き出すため、どんな展示台が合うか考えて発注したりもします。



ミュージアムショップ

企画展関連グッズや美術館オリジナルグッズを販売。ゆるキャラ「さちびちゃん」も人気！



A 吉祥寺美術館では、学芸員たちが展示の順番や作品の魅力をより引き出す見せ方などを考え、興味を持ってもらえるような工夫を凝らしながら作品を展示しています。大きな美術館に巡回してくる美術品とは異なった「ここでしか観られないおもしろさ」を求め、展示会を企画しています。
※今後の展示案内についてはP27の武蔵野カルチャーガイドをご覧ください。

中学生記者募集!!

あなたも『おさしのライフ A to Z』の中学生記者に挑戦してみませんか。武蔵野市内にまつわる素朴な疑問や知りたいことなどを折り込みハガキに記入して、どんどん応募してください。友達と一緒にの参加も歓迎です。

取材を終えて



田中さん
入館料はたったの100円なのにすごく楽しめます。コピス吉祥寺のキャラパークによく来るので、そのついでにまた友達と来たいです。



金山さん
気軽に立ち寄れる場所に美術館があるって良いですね。美術が苦手な私でも、銅版画の作り方などがわかっておもしろかったです。